

## 活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	秋から冬へ、湿地の植物はどうなん？～+熱帯植物も観察～		
開催日時	2022年12月17日（土） 10時 ～ 14時30分		
開催場所	千葉県市川市大町自然観察園（長田谷津）	一般参加者	20名

### 活動概要

市川市に唯一残る谷津の自然を保護している大町自然観察園を訪れ、一年草→多年草→ガマ・ヨシ原へと徐々に遷移していく湿地の様子や、湿地の状態を保全するための取り組みなどを見ました。また、コブシやカシ類の冬芽や葉痕、ハンノキの花序などを観察して、植物はどのような状態で冬を過ごすかを見ました。午後は鑑賞植物園(温室)に立ち寄り、熱帯植物の特徴などを観察しました。



台地からの浸み出し水が多い場所には、セリ、クレソンなどの多年草が多く生育する。



湿地が少し乾燥してくるとガマ・ヨシが多くなる。



コブシの冬芽  
(毛に包まれている)



アカガシの冬芽  
(芽鱗に包まれている)



アカメガシワの冬芽  
(裸芽)



ハンノキの花序  
(まだ蕾の状態)



今夏に花が咲いたアオノリュウゼツラン。花が咲いた株は枯れる。



鑑賞植物園(温室)  
見学の様子  
・大温室入口付近  
・タビビトノキ

散策路でウラギンシジミの越冬状態（あるいはその前段階か）を見ることができました。



キツタの葉裏に居たウラギンシジミ  
(成虫で越冬)

F I C 講師 鈴木晴美